

ハイイロゲンゴロウをさがせ

石田晴基

この活動を始めたきっかけ

ぼくは昆虫の観察が好きで、2024年から水生昆虫を探し始め、航空写真から池や水辺を見つけて、そこで水生昆虫探しをしていました。2024年9月8日に日比谷公園の大噴水で初めてハイイロゲンゴロウを多数見つけることができ、とても驚きました。ところが10月6日に再び行くと噴水は掃除され、マツモムシしかいなく、もっとゲンゴロウを見つげるために、よりよい方法を考えたいと思うようになり、次の活動(1~8)を進めました。



2024年 日比谷公園の大噴水にいたハイイロゲンゴロウとマツモムシ

1：よりよい方法を考えてみる

ぼくはグーグルマップを見て池とかを探して虫探しに行っていましたが、生成AIはいろいろなことを教えてくれるので、生成AI(ChatGPT)を使って虫探しを試みることにしました。

2：ゲンゴロウのいるところについて考えてみる

まず、ゲンゴロウが見つかりそうな場所を生成AIに聞こうと思いましたが、その前に図鑑で調べると、種類ごとに居場所が違っていると分かりました。そこで、自分が日比谷公園と東京国立博物館で見つけたことのあるハイイロゲンゴロウにしぼり、都心で見つけられる条件を調べることにしました。

3：まず図鑑で調べて、生成AIに聞いてみる

ハイイロゲンゴロウの都市部での生息条件について、生成AIについて聞いてみました。(別紙①) 図鑑の情報に加え、魚がいない方がよいこと、灯火にもよく飛来すること、などが分かりました。

4：これまで調べたことや知っていることを元に聞いてみる

これまでにぼくがハイイロゲンゴロウを見つけられた所は日当たりのよい場所でした。生成 AI に日当たりについても聞いたところ、「見つけやすくはなるが、生息に絶対必要ではない」との回答でした。(別紙②) 今回は「見つけやすくする」ことも目的なので、日当たりのよさも条件に加えることにしました。

5：生成 AI の「目視」機能を使って場所を聞いてみる

生成 AI が画像判別できることを利用し、グーグルマップの航空写真とストリートビューなどの画像を「目視」してもらい、条件に合う場所を探してもらいました。まず東京国立博物館のある台東区で候補地を挙げてもらいました(別紙③)が、平成館前の水辺が入っていなかったため、そこでもハイイロゲンゴロウを見つけたことを教えて条件を追加してもらいました。(別紙④) 新しい条件を入れて再度リストを作成してもらう(別紙⑤)と、東京国立博物館・平成館前の池と御徒町公園の流れのある池が新たに候補地として挙げられました。

6：生成 AI が導き出した場所を見つけやすい順に点数化してみる

それぞれの条件を点数化して、ハイイロゲンゴロウが見つかりやすい順に並べたスポット・リストを作ってもらいました。(別紙⑥) それぞれの条件の配点を自動的に考えてくれました。

7：台東区のスポット・リストにある場所に行ってみる

2025年11月1日、上野恩賜公園・竹の台広場 大噴水、東京国立博物館・平成館前の池、御徒町公園「流れのある池」の順にスポットに行ってみました。

上野恩賜公園・竹の台広場 大噴水



掃除されたばかりみたいで、噴水はきれいで虫は見当たりませんでした。

東京国立博物館・平成館前の水辺



排水溝でハイイロゲンゴロウを発見



ハイイロゲンゴロウの死骸とヤゴの抜け殻(?)

警備員さんから、ちょうど前の週に掃除したばかりと聞きました。まずハイイロゲンゴロウの死骸とヤゴの抜け殻らしきものを見つけ、排水溝から出る泡を待っているとハイイロゲンゴロウが現れ、呼吸後すぐに戻っていきました。生成 AI が教えてくれた「排水溝にいる可能性」が実際に確かめられました。

リスト外: 上野公園内にある東京文化会館前の水辺



東京国立博物館から上野駅へ向かう途中、東京文化会館前に条件のよさそうな浅くて日当たりのよい魚のいない水辺がありました。アメンボはいたものの、ハイイロゲンゴロウは見つかりませんでした。

御徒町公園「流れのある池」



池はコイがいる池といない池に分かれていましたが、排水溝を含めどこにもハイイロゲンゴロウはいませんでした。

8：同じ方法で千代田区のスポット・リストを作成し、その場所に行ってみる

台東区と同じ方法で千代田区のスポット・リストを作成したら、去年ハイイロゲンゴロウを見つけられた日比谷公園の大噴水がリストに入っていました。(別紙⑦) 2025年11月16日に父と妹と一緒に日比谷公園の大噴水・心字池、和田倉噴水公園(皇居外苑)に探しに行ってみました。

日比谷公園大噴水



昨年ハイイロゲンゴロウを発見できた大噴水は公園再生整備工事によって取り壊されていました。工事後に新しい大噴水ができてハイイロゲンゴロウがまた戻ってきてくれたらうれしいです。

日比谷公園心字池



昆虫の死骸らしいものが池の底にありました。ハイイロゲンゴロウは見つかりませんでした。夏にはこの池の周りでトンボが飛んでいるので、ヤゴの死骸かもしれません。

リスト外：日比谷公園小噴水



スポット・リストにはありませんでしたが、念のため日比谷公園内の小噴水も確認しに行きました。噴水から出る水が端まで届くせいなのか、ハイイロゲンゴロウはいませんでした。

和田倉噴水公園



この噴水はハイイロゲンゴロウがいる条件がそろっていそうですが、ハイイロゲンゴロウは発見できませんでした。アメンボはいました。また違う時期に来てみたいです。

リスト外：和田倉噴水公園の脇にあるお堀



お堀は魚がいるせいか、これまでハイイロゲンゴロウを見たことはありません。和田倉噴水公園の脇にあるお堀を確認したところ、やはり見つかりませんでした。

まとめと展望

生成 AI で都市部におけるハイイロゲンゴロウのを見つけやすい条件を整理し、「目視」機能で条件に合う場所をリストアップして現地の確認をしました。より詳しい条件が分かれば、すみかの保護や新しい生息環境づくりにも役立つかもしれません。今後はこの活動で得たことをもとに、水温・気温なども記録しながら、さらによい方法を考えていきたいです。